



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第63号

発行 北海道幌延町議会

編集 議会報発行特別委員会

電話 01632-5-1111

FAX 01632-5-2971



おもな内容

幌延町議会臨時会	2
幌延町議会定例会	2～3
地域の課題をとらえて 一般質問	4
平成22年度決算を認定	5～6
総務文教常任委員会	7
産業厚生常任委員会	7～8
サークル紹介	8
町内行政視察	8
議会の動き	8

◎工事請負契約の締結
問寒別団地公営住宅建設

◎専決処分の承認
「現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律」が6月30日施行されたことに伴い、幌延町税条例等の一部を改正し、専決処分した。主な改正点は、寄付金税額控除の見直しで、不申告に対する過料の引き上げなどであるが、町税全体に影響する改正ではない。

◎専決処分の報告

幌延中学校におけるリサイクル資源回収を実施中にリヤカーが路上駐車していた車両に接触し損害を与えた。学校に対し、事故防止に努めるよう指導した。

専決処分の報告1件、専決処分の承認1件、議案1件を決定した。

第6回 幌延町議会臨時会

8月26日



オトンルイ風力発電の風車

工事の契約。金額は6千3百42万円。契約の相手方は(株)森崎組。工事の概要は木造平屋、2棟4戸になる。

報告1号
審議内容
幌延風力発電株式会社の経営状況報告
22年度の売電発電量は平均風速が計画を上回るなど、好条件な環境の中で予定より7%上回る5億1百91万8千円だった。
営業費用は発電可能な状態に保つための電力料、修繕費、保険料、減価償却費、租税公課、業務管理委託費

幌延町議会9月定例会が9月14日～16日の日程で開催され、一般質問の後、平成22年度各会計決算の認定と平成23年度一般会計を含む各会計5件の補正予算を審議、同意案2件、意見案3件などすべてを可決し、日程を1日残して15日閉会した。なお平成22年度各会計決算の審査は議員全員による特別委員会、西澤裕之議員を委員長に、齊賀弘孝議員を副委員長に選出し審議が行われた。

第7回 幌延町議会定例会

9月14日～9月15日

の雑費など合計3億5千3百57万8千円となり、営業利益は1億4千8百34万円となった。

営業外費用での借入金と今回から除去債務に係る会計基準を適用したのに伴い平成22年度当期純損失が9千98万2千円となった。

平成23年度事業計画は売電単価が1kW当たり現在の9円19銭から約8%低下の8円46銭になることで売電収入は4億3千2百96万6千円とするなどの報告がなされた。

⓪ 幌延風力発電は創業から8年目になるが、将来的には減価償却費の積み立を利用して大規模な建て替えなどを考えているのか。

ⓧ 風力発電施設の耐用年数は17年となっているが、北電との契約単価が年々下がっていくステップ方式という契約なので、17年後は、まだ不透明な状態で明確に答えられない。

⓹ 会社の設立は平成12年10月24日と説明を受けている。当時の出資者は幌延町と日本鋼管、伊藤忠商事、

地元企業8社と言うことでしたが、現在地元企業は何社残っているのか。

ⓧ 現在5社が入っている。

議案第1号

平成23年度幌延町一般会計補正予算

⓹ 北海道市町村備荒資金組負担金8千3百10万円を補正で増額する理由は何か。

ⓧ この備荒組合は災害時の相互扶助のための基金で全道の市町村全部が加入している組合です。負担金の限度額はなく、利率が0.89%と高く町としては24年度までに3億程度積みたい。

⓹ この基金は22年度決算資料に載っていない。利息等の配当金は一般会計に運用できるのか。

ⓧ この基金の配当はあくまで組合の中で処理する。また備荒資金の残高については決算説明資料の中で何らかの形でお知らせしていきたい。

議案第6号

工事請負契約の締結

幌延町立診療所過疎対策外構整備工事の請負契約を締結し施工していたが、当初の設計に変更が生じ、その設計概数が確定したことにより、予定価格が5千万円を超え、5千1百92万2千5百円となったため議会の議決が必要となった。

⓹ 契約後の変更とのことだが、設計に用いた概数の確定とはどういうことか。

ⓧ 最近の発注方式で、現場の状況に合わせて積算数値を確定し、新たな工事契約額を詰め、請負業者は当初



診療所視察風景

の落札率92.83%がそのまま適用される。

⓹ 以前と違い、今後このような変更がふえるのか。

ⓧ 最近では工期が近づき契約金額の変更をして工事を完了するケースが増えていく。

意見案1号〜3号

◎東日本大震災を教訓とした災害に強い地域づくりを訴える意見書

今後、災害に強い地域づくりを進めるための社会資本整備と防災教育など総合的な防災対策強化を求める。

提出者：高橋 秀之氏

◎森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

森林整備を着実に推進し、低炭素社会の実現に着目した公共、民間での地域材の利用推進と間伐材を利用した木質バイオマスエネルギーを最大限活用するなど木材産業の経営安定と森林所有者の負担軽減を推進する。

提出者 佐々木忠光氏

◎平成24年度農業予算編成ならびに税制改正に関する意見書

国内農業対策の強化を図り、経営形態別の目標とすべき構造を明示し、食糧自給率の目標達成のための農政推進と税制改正など、省庁横断的な施策の展開を求める。

提出者：吉原 哲男氏
以上全案件を採択する。



町営牧場放牧風景

地域の課題をとらえて

2氏が一般質問



覚見 悟

Q、文献調査を受け入れないのと将来に渡つての施設利用とは何か。
A、地域振興を図るため色々と検討される可能性がある。



齋賀 弘孝

Q、議会答弁を撤回したのか！
A、発言は撤回しておりません。
Q、契約の報道は町民が不信感を持つのでは？
A、全て正当な商取引だ。

質問 文献調査は受け入れないのでですね。

町長 私が町長の時には受け入れない。

質問 関連施設の誘致とは言われて久しいがどういふものか。

町長 三者協定に違反しないことを前提にして、考えている。

質問 施設の埋戻し(地下)はするの。

町長 そうなると思う。

質問 埋戻しをするということになると有効利用は無いのではないか。

町長 地下での有効利用はない。

質問 今まで町長は民間レベルであれば様々な検討、勉強会を開いてもいいのではないかとのべているが。

町長 民間レベルで検討したのかどうかは承知していない。

質問 文献調査で20億円。精密調査、概要調査で70億円。処分場では一兆円〜三

兆円の工事費。地域振興資金も出ている。こういうものを含めて(六月議会で)検討課題と言ったのではないか。

町長 約20年間の研究期間が終了したら、次の町長が考えていくことだと思う。

質問 六月議会の時は文献調査を含めて検討課題と述べていた。今回の答弁で行くと跡地利用を含めた検討が必要ではないか。

町長 三者協定からいっても、文献調査は受け入れられない。道が認める訳がない。

質問 三者協定を言うならば町として独自に調査したり守る立場はないのでは。

町長 具体的にあれば、質問して欲しい。

質問 NUMO(処分団体)が、原子力機構との共同研究を計画していたが。

町長 答弁を差し控える。文科省が協定に違反することとは無いと思う。

質問 7月7日の毎日新聞によると6月定例会の一般質問の答弁を撤回とあるが、町長の真意は。

町長 日頃から三者協定を遵守すると申し上げている。調査を受け入れると答弁していない。その撤回はありえない。

質問 文献調査は幌延町にどのようなメリットがあるか。

町長 文献調査の申し入れを受ける考えはないが、開始すると電源立地地域対策交付金が交付される。

質問 公開質問状に回答した事については。

町長 町民の方から寄せられた町政に対する質問や疑問に答えていくことは、町政の負託を受けた者としての責務であり、協働のまちづくりと町民参加を進めていく上において、説明責任を果たして行くことが大切であると考えた。

質問 これから何をどう検討していくのか？

町長 私が町長の間は、幌延深地層研究計画の推進に協力し、文献調査は申し入れを受け事も、検討する考えもないが、次の町政を担う人達が、町づくりや政策を進めていく中で、将来、幌延深地層研究センターを有効利用して、関連施設や研究期間等の誘致が考えられる。

質問 原子力機構が町長側企業と契約と記事がでましたが、町民が不信感を持つのではと思うが、どう考えるか。

町長 報道された契約は、全て正当な商取引で、何ら不信感を持たれない。

質問 この事で報道された事が、町民は残念である。役職は降りられないのか。

町長 役員をやつて違法になるものではない。議会で議論した事が、会社に影響を与えれば、私は責任を負いかねる。答弁は控えさせていただきます。

平成 22 年度 決算を認定

西澤裕之氏を決算特別委員長に選任し、2日間の審査の結果、原案通り可決されました。

一般会計・特別会計・病院会計の決算額については10月号の“ほろのべの窓”でお知らせしておりますので質疑応答について掲載しております。

〈一般会計〉

◆歳出

〔総務費〕

(植村委員) 選挙関係について、平成22年度から選挙管理を担当する事務員の不足等の要因から、投票所の統合による経費の削減等の影響は、どのようになっていくのか。

(宮古主幹) 投票所が3箇所になった事により、人件費の削減になっている。投票に関する苦情等もなく比較的スムーズに行った。

〔民生費〕

(斉賀委員) 毎年長寿まつりを行っているが、アルコール等を出しておまつりを盛り上げ、来年もぜひ参加したいと思うようなアイデアを考えてはどうか。

(宮本町長) 自律プランでアルコールを出さないということが決まった。アルコールがなくても雰囲気盛り上げられるような工夫を担当者に知恵を出してやってもらいたいと思っている。



長寿まつりの様子

〔教育費〕

(斉賀委員) 図書館管理システム導入事業の中でパソコン等を利用して、幌延町全体の図書の管理をしていく中で、その成果と今後の課題に向けての取り組みはどの様になっているのか。

(大村主幹) まだ町全体の図書の連携はシステム上はできていない。ホームページ上で図書・図書室の方をクリックすると、在庫の本が出るようなシステムになっている。

(兜教育長) 改善センターの方から学習センターの方に

図書を持ってきて今スタートしたばかりで、職員の体制を考えながら一体化した図書の管理を検討をしている。

(植村委員) 社会教育の中でいろいろな公演活動を行っているが、実際大変面白くためになる公演等も随分あった中で、参加人数が少なく寂しいと言う話を聞いているが、なにが原因なのか。

(大村主幹) ご指摘のとおり参加人数が少ないという悩みがある。教育長・次長・担当者で検討をしている。今年度導入した双方向端末機や回覧等で周知するなど今後の課題と思っている。



北岡文雄展

◆総括

(斉賀委員) 一般会計の残額が2億9千2百万円出ました。次年度に向けて、幌延町に生まれて、生活して、就職して良かったと思えるように予算に反映させていきたい。

(宮本町長) 大変評価の高い決算を終えられたと思っている。24年度に向けて、まだいろいろと工夫する面もあるうと思っている。

(鷲見委員) 地域の労働力の確保や雇用の確保等を考え、町営牧場の広域化も必要ではないか。

(宮本町長) 農家の方々の希望があれば農協と協議をして検討をしていく。

(斉賀委員) 競争力のある酪農の推進に取組んでいるとはどのようなことか。

(宮本町長) 農協の平成25年からの農業振興計画が出た中で検討をしていく。

(山本主査) 酪農ヘルパー組合への支援。道の地域づくり総合交付金を活用し自走式ミキシングフィーダーを導入。強い農業づくり事業

で雑草防除技術の実証試験を行った。

〈北星園特別会計〉

(植村委員) 今年度から民営化されたわけですが、園長としての感想は。

(小西園長) 4月にスタートしたが、6月行方不明者が出る事故があり、その対応に追われまだ整理がつかない。

(植村委員) 今後利用者の高齢化や国からの支援費の削減等による運営難が予想されるが、新しい取組は。

(小西園長) 障害者自立支援法がどのように見直されるのか情報を収集中である。ただ利用者へのサービスに反映させる面では迅速に対応ができる。生産活動についても、働いている利用者にも少しでも高い賃金を払えるように2〜3年後を目途に検討をしている。

〈国民健康保険特別会計〉

(斉賀委員) 22年度決算においてお金に係わらない部門での問題はありますか。

(鈴木町民課長) 特にないが

国民健康保険特別会計の運営上財源的な不足が大きな課題となっている。

〈介護保険特別会計〉

(斉賀委員) 介護サービスの多様化による提供体制の確保への今後の取組について。介護サービスに対する町民の要望を把握されているのか。

(細野保健センター長) 現在訪問看護サービスは行われていないが、在宅で過ごしたいと言う声も聞いているので、今後考えていかなければと思っている。

(佐々木委員) 介護認定を受けるまでいかない、一人世帯の高齢者の人達が集まって生活できるような施設の建設について、どのように考えているのか。

(宮本町長) 共生型のグループホームの建設については私の公約にある。民間の方によっていただく考え方になるだろうと思うが、こざくら荘の増設を含めて検討をする。

(佐々木委員) 高齢者の方々の状況調査・希望調査をし

たのか。今後する予定は。

(鈴木町民課長) 実施調査を行った事はありません。平成24年度から介護保険の事業計画をまとめる中で、施設入所の実態とサービスの

実態を踏まえて検討をする。(鷺見委員) 保険料は再度値上げになるのか。

(鈴木町民課長) 施設の増床等により現状の保険料で運営するのは極めて厳しい。



はつらつ教室の様子

〈簡易水道事業特別会計〉

(植村委員) 漏水によるロスが増えてきているが古い送水管の敷設距離は掴んでいるのか。

(柿崎主査) 昭和30年代から

配水管を敷設し、現在の簡易水道に至っている。当時の技術者の頭の中で整理していたものが管路図の基礎

となっており、最近の工事に関しては管路図の補正をし位置の把握をしている。

〈下水道事業特別会計〉

(吉原委員) 水洗化率の上が見通しと、個別排水施設の今後の増設の見通しは。

(渡部主幹) 公営住宅1号、2号棟を浄化槽から下水道に接続する事により水洗化率は上がる予定。個別排水槽は今年度2基設置し、今後も継続していきたい。

〈町立病院〉

(吉原委員) 院長の定年を延長して2年が経過したが、今後どのようにするのか。

(宮本町長) 65歳まで定年を延長したが、健康上問題がなければ定年後も嘱託でお願いしたいという話はしている。

(吉原委員) 年を取ってくる和健康上大変になるので新しい先生を探すという事を常に考えておく必要はない

のか。

(宮本町長) 24時間勤務という負担がかかっているが、一人でもやっていけるとい



こざくら荘敬老会の様子

常任委員会 報告

第6回総務文教常任委員会 (9月2日)

〔調査事項〕

(1) 第5次幌延町行政改革大綱「新・ほろのべ自律プラン」の策定について

・策定の目的

『小さくとも、キラリと輝き続けるまちづくり』の実現に向けた具体的行動計画を策定する。

・計画期間

平成23年度から平成27年度までの5年間

・取組項目の構成

「行財政改革の推進」に取り組み、そこで生じた黒字分とこれまで積み立ててきた「ふるさと創生基金」を、「地域を支える基幹産業の振興」と「まちづくりの基本方針」の取り組みに向ける。

・今後の推進

進捗状況は、幌延町行政改革推進委員会へ報告し公表する。実施取り組み項目は、行政改革推進委員会の提言及び議会・関係機関等

の意見を踏まえて、毎年検討する。



保育所のこどもたち

第6回産業厚生常任委員会 (8月26日)

〔調査事項〕

(1) 北星園利用者の行方不明に関する経過報告について

○ 6月26日、午後8時20分頃に、利用者1名が行方不明になった。北星園職員、警察官、消防団員、消防署員、町職員で5日間捜索したが発見できず、現在も北星園職員が捜索を継続している。

原因調査結果を踏まえて事故再発防止策を講じ、係る費用は予備費を充当する。

問 監視カメラの設置は考えていないのか。

答 検討しているが結論は出ていない。

(2) 幌延町指定訪問介護事業所の再開について

○ 7月1日付で4名のホームヘルパーを採用している。天塩町の訪問介護事業所の協力によりヘルパー研修等を経て、8月1日から町の事業所単独でのサービス提供をしている。

今後は、体制等の強化も含めて、介護サービスの充実を図るために支援したいと考えている。

問 今後こういう問題が再発しないように対策はとったのか。

答 独立した事業所であり、町が全てに関わるということにはならないが、以前よりも連携を密にして、連絡調整をする機会を積極的に設けていこうと考えている。

(3) 問寒別出張診療の際の処方箋受取方法の変更と外来の休診について

○ 院外薬局化に伴い、月1回の問寒別出張診療の際の薬の受け渡し及び代金の取

り扱いに問題が生じた。

問寒別地区の住民には説明会を開き対策案を示した。どちらとも、院外薬局の方が問寒別出張所まで行き、対応してもらえらることとなった。それに伴い幌延町立診療所は、第2金曜日の午後2時から休診となるが、急患については今までと変わらず受け付けしている。



トナカイ調剤薬局視察風景

第7回産業厚生常任委員会 (9月2日)

〔調査事項〕

(1) 幌延町立歯科診療所委託契約について

○ 歯科診療所の運営を、歯科医師である国奥泰彦氏に業務委託する。建物の維持管理に要する費用及び医療機器等の備品修理費用(1件10万円以下)は、受託者が負担する。委託料は、各月の診療報酬に管理経費として月額5万2千500円を加算した額とする。

(2) 幌延簡易水道漏水調査業務について

○ 現在、日量にして約1百92㎡、約2百16㎡、配水池容量の48、54%が漏水している。このままでは、最悪の場合、給水区域全域が断水しかねないと想定される。

問 対象の配管の長さは。

答 19.5kmある。

問 委託期間が12月中旬とあるが、工事はその後なのか。

答 漏水の修理については発見しだい速やかに行う。

(3) 幌延町トナカイ観光牧場について

○ 入場料無料化から2年半が経過し、今後の運営方法を検討するために今までの取り組み状況等、説明を求めた。

問 小動物を増やす考えは、受託者の恩田氏から、釧路の動物園から打診があったとの話は聞いているが、進んでいない。

問 入場者数は約10倍増え一定の成果だと思いが、収入源を何に求めていくのか。

答 トナカイの貸し出しや希少価値の高い花の販売で収入を上げて行きたい。

問 ブルーポピーの開花調整実験の結果は。



答 氷室の改善は必要だが生育に差を付ける用途は立ったと考える。入場者数の多い夏期に花を見せられるように技術を確立させたい。

サークル紹介

『幌延手打ちそば 愛好会』を訪ねて



会長 稲垣 紘順

Q: どのような活動をしていますか。

A: 新装した生涯学習センター調理室で、月一回の例会と、3回の練習会を行い、技術の向上と親睦を深めています。

また、ござくら荘の敬老会や町民文化祭及びトナカイホワイトフェスタ等のイベントに協力し、手打ちの腕前を披露しています。

〜会長さんから一言〜
「手打ちそば」の魅力は、自分で打って食べられることです。

今後は、町民の皆さんに「手打ち」の楽しさを伝えていきたいと思えます。気軽に例会に遊びに来てください。

町内行政視察

(9月15日)

視察場所

- 幌延町立診療所
- 幌延町立歯科診療所
- 幌延小学校太陽光発電設備
- 町道下沼12号線



パンケ沼へと続く道(町道下沼12号線)



幌延小学校太陽光発電の視察風景

議会の動き

- 8月17日～18日 ▶ 議会広報研修会(札幌市)
- 8月26日 ▶ 第6回臨時会
第6回産業厚生常任委員会
第5回議員協議会
- 9月2日 ▶ 第5回議会運営委員会
第6回総務文教常任委員会
第7回産業厚生常任委員会
第6回議員協議会
- 9月14日～15日 ▶ 第7回定例会
決算審査特別委員会
- 9月15日 ▶ 町内行政視察
- 9月22日 ▶ 議会運営委員会視察 (羽幌町)



編集にあたって

今年も地球規模で天候の異変があり世界各地で大規模災害が発生した。

私達の町も春先からの干ばつと8月以後の長雨など変則的な天候だった。

この時期になると家庭菜園の出来具合はどうですかと挨拶話が出る時節ではないでしょうか。丹精込めて作った野菜達を、おいしく食べてあげてください。

さて、8月19日に札幌で議会報の研修会があり、見出しの付け方や文章表現の方法などを学んできました。今

後も皆様に親んでもらえる紙面作りを心がけて行きたい。



議会報研修会風景

編集委員長 西澤 裕之
副編集委員長 佐々木 忠光
編集委員 植村 隆
無量谷 敦